

企業/団体名 | アウンコンサルティング株式会社

事業内容 | グローバルマーケティング
メディアマーケティング

設立 | 1998年6月8日

従業員数 | 29人
(2025年7月末時点)

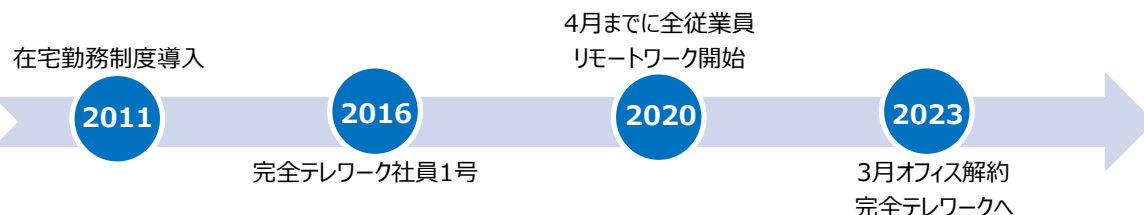
所在地 | 東京都千代田区

資本金 | 100,000千円

テレワークの取組概要

テレワーク導入の経緯

BCPの一環として、災害や感染症リスクに備えるため、テレワーク導入



テレワークの実施状況

原則、全従業員が完全テレワーク、出社は特別対応時のみ

利用したテレワークツール

- Teams(ビジネスチャット)
- One Drive(クラウドストレージ)
- DocuSign(電子契約サービス)
- freee(クラウド会計ソフト)
- ovice(バーチャルオフィス)
- fondesk(電話代行サービス)
- トドケール(クラウド郵便管理サービス)

AUNのテレワークの特徴

埋もれている才能を発掘し、多様な力を、どこからでも発揮できる環境

テレワーク活用による効果 導入・活用時の課題と対応策

テレワークで労働力不足・ジェンダー格差・地域格差の社会課題を解決できないか？

課題

- テレワーク前提の制度・規則の未整備
- コミュニケーションの希薄化
- 業務・成果・進捗が不明慮
- 出社を前提とした業務の存在
- 事業拠点の地理的集中に伴うリスク

アクション

- “多様性×柔軟性”のある働き方に整備
- 社内コミュニケーション施策の充実
- 業務の可視化・評価制度の見直し
- システム・DXへの投資&ペーパーレス推進
- 地理的に多様な人材の採用
- BCP計画の再整備

経費削減

固定オフィス廃止により大幅なコストダウンを実現
月340万円(2019年) ➡ 月11万円(2024年)

業務効率化

DX投資&ペーパーレス化で工数削減

帳票印刷・ファイリング時間：13時間/月 削減

監査法人への資料共有時間：26時間/四半期 削減

複合機レンタル料・印刷代：139,000円/月➡1,280円/月

採用ターゲットの拡大

全国へ拡大したことで、応募者数が増加&採用単価削減

採用1名あたりの応募者数：26名 ➡ 100.5名

採用1名の単価：30,000円 ➡ 5,000円

テレワーク導入・活用の成功要因とアドバイス

働き方に制約ある人材が活躍できる環境を

テレワークという就業環境を通じて
制約がある環境下においても自身の能力を発揮することができる機会を創出

オフィスワークと テレワークは別物

社員同士の物理的な接触が不可能であることを前提とした就業環境の整備。



- ・ 規則や社内ルールの変更
- ・ 経験やノウハウの資産化
可視化
- ・ 業務のセルフサービス化

物理的な距離感は デジタルツールで補完

デジタルツールを活用し、企業活動の安定稼働と生産性向上の両立。



- ・ リアル業務のデジタル化
- ・ ペーパーレス化
- ・ 業務の自動化

人材の多様化を前提に 企業文化の形成

場所的・時間的な制約がなくなると、多様な人材に配慮した制度設計。



- ・ 居住地を制限しない採用
- ・ テキスト形式での非同期
コミュニケーション
- ・ 評価報酬制度：公平分配思想